

# 自己評価及び外部評価結果

別添2

年度 年 月 日

## 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1472700523	事業の開始年月日	2006年4月1日
		指定年月日	2006年4月1日
法人名	株式会社 スマイル		
事業所名	スマイル住まいる三浦		
所在地	(〒238-0111) 三浦市初声町下宮田601-7		
サービス種別 定員等	認知症対応型共同生活介護	定員計	18 名
		ユニット数	2 ユニット
自己評価作成日	2023年3月10日	評価結果	市町村受理日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>お客様、お一人お一人の方に「ここにいたいな。ここにいて良かった」と思っただけのような環境づくりとご自身の出来る日常生活動作を見守り、自立支援に沿った関わりが出来ることを目標に取り組んでいます。</p> <p>インドネシアやミャンマーからの特定技能の人材の人達も日々の関わりを大切に、笑顔でお客様と接しています。</p> <p>新たな取り組みとして、眠りスキャンを導入しています。</p>
--

## 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	はまゆう 包括支援センター / ご家族様		
所在地	三浦市三崎町諸磯1411-1		
訪問調査日	2023年3月10日	評価機関 評価決定日	

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>日常生活の中で、洗濯物を畳んだり、本人の好きな絵を書いたりと楽しく過ごすことが出来ているようです。</p> <p>毎月の報告書、本人の様子がよく分かるように書かれています。</p> <p>眠りスキャンやiPadを使用した取組み、慣れるまで大変だったと思いますが新たな取り組みをしていること、すごいと思いました。</p>
--

## 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 10
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	11
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	12 ~ 16
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	17 ~ 23
V アウトカム項目	56 ~ 68	

スマイル住まいる三浦自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	自己評価補足	外部評価	外部評価補足	評価用資料
1	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	B. ほぼできている	スピーチロックになっている場面がまだ見受けられる。人員配置は充足してきているので、より個々に寄り添うケアに取り組んでいく。	A. 充分にできている	ご家族様：面会に行った時など、スタッフの挨拶など気になることはないですというお話。認知症の方への関わり方など、課題を説明させていただく。	<a href="#">身体拘束適正化に関する指針</a> 身体拘束適正化委員会 議事録 <a href="#">16身体拘束委員会議事</a>
2	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	B. ほぼできている	研修の実施。認知症の症状に対してのケアの方法について、個々に指導を行っている。	A. 充分にできている	包括職員：研修など包括でも実施しているので、相談してもらえれば対応も可能ですと仰っていただく。	・虐待防止、身体拘束 研修 ・研修レポート
3	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	C. あまりできていない	運営推進会議が未実施となっている。毎月のご様子を記録し、ご家族様へご報告。その際、お手紙にご不明な点やご希望など、いつでもご連絡下さいと記載している。	B. ほぼできている	来年度、開催に向けてご家族様と包括職員と話をしました。包括から色々な提案をしていただく。	
4	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	C. あまりできていない	向上心を持つこと、働きやすい環境の整備については昨年7月以降、改めて着手を始めたところ。	C. あまりできていない		<a href="#">人事評価制度</a> <a href="#">処遇改善に関する内容</a>
5	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	B. ほぼできている	プチ研修の実施 現場での個別の指導を行っている。	B. ほぼできている	包括職員：研修など包括でも実施しているので、相談してもらえれば対応も可能ですと仰っていただく。	<a href="#">社内プチ研修</a> <a href="#">OJTチェックシート</a>
6	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	C. あまりできていない	チームで作成ということについて、現状、不足している。ケアカンファレンスの機会を増やしていく。	C. あまりできていない	ご家族様：気づいたことなど、記録に書いていただいているので分かりやすいです。	モニタリング記録 <a href="#">16モニタリング.pdf</a> 介護計画書① <a href="#">16介護計画書.pdf</a>
7	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	B. ほぼできている	記録については、お客様お一人お一人の方に気づいたことなど入力をしている。	B. ほぼできている	実際の記録を見ていただきました。	カンファレンス <a href="#">16カンファレンス.pdf</a>

スマイル住まいる三浦自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	自己評価補足	外部評価	外部評価補足	評価用資料
8	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	B. ほぼできている	入院時には介護サマリーを作成している。状況の把握に努め、事業所から病院に連絡し退院に向けてスタッフへ情報を共有している。	A. 充分にできている		入退院時記録 <a href="#">16介護サマリー（入退院時記録）.pdf</a>
9	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	B. ほぼできている	ご家族様へは、状況の変化やご本人様のご様子など小まめにご連絡をさせていただいている。地域との関係者との支援については課題となっている。	B. ほぼできている	看取りケアについて説明をさせていただきました。	看取り介護計画書  <a href="#">看取りケアに関する研修</a>
10	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	C. あまりできていない	避難訓練の実施を行っているが、夜間を想定した訓練の実施が出来ていない。いざという時に動けるように、夜間訓練も実施していく。どのように動くかを話し合うことから始める。	C. あまりできていない	ご家族様：地理的に水害の被害は少なく思います。地震の備えも十分には難しいと思いますが、訓練の実施は必要と思います。	消防計画・訓練結果 <a href="#">16消防計画.pdf</a>
11	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	C. あまりできていない	新しいスタッフも入社し、改めて全員で意識して取り組んでいっているところ。	A. 充分にできている	ご家族様：面会に行く時の様子を見る限りは言葉かけなど気になる場面はありません。継続して対応をお願いします。	<a href="#">個人情報とプライバシー保護 研修</a>
12	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	B. ほぼできている	食器拭きを一緒に行っていただいている。もう少し、調理についても参加可能なお客様がいらっしゃるのでは、スタッフの関わりが課題。	A. 充分にできている	ご家族様：本人も食事が美味しいと話しています。	
13	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている	毎食後、口腔ケアを実施している。	A. 充分にできている		口腔衛生に関する助言 口腔衛生計画書 <a href="#">16口腔衛生計画書.pdf</a>  <a href="#">16口腔衛生に関する助</a>
14	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	C. あまりできていない	自立支援の研修を受けることで、テーブル式オムツからリハビリパンツへ変更となったお客様がいらっしゃる。水分摂取を促し自立支援に向けたケアに取り組んでいるところ。	B. ほぼできている		

スマイル住まいる三浦自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	自己評価補足	外部評価	外部評価補足	評価用資料
15	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	B. ほぼできている	薬情報をファイルに保管。週1回の訪問看護師と情報を共有しながらケアに取り組んでいる。	A. 充分にできている		
16	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能がわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	B. ほぼできている	室内はバリアフリーとなっている。	A. 充分にできている		共用部写真① <a href="#">16共用写真2</a> 共用部写真② <a href="#">16共用写真</a>
17	本人主体の暮らし	本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	B. ほぼできている	週1回の訪問看護、月2回の往診があり。ご本人様のご希望を聞きながら、フロアで過ごす方、休養される方、散歩へ行かれる方、様々。	A. 充分にできている	ご家族様：本人も安心して暮らすことが出来ています。	
18	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	B. ほぼできている	ご自身の馴染みの物(筆筒や机、アルバムなど)をご持参されている。	B. ほぼできている		お客様居室写真① <a href="#">16居室写真</a> お客様居室写真②
19	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	B. ほぼできている	お一人お一人の方のお好きな話題や活動をスタッフも把握していて、笑顔で楽しく過ごしていただけるよう工夫している。	A. 充分にできている	ご家族様：洗濯物をたたんだり、本人が出来ることを一緒に取り組んでいます。	
20	総合	本人は、このGHにいて、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	C. あまりできていない	地域の人たちとの関わりが薄いのが課題。	C. あまりできていない	包括職員：地域との関わりとして、見学会の実施や交流の機会についてご提案をいただく。	